

玉島川水系横田川 広域河川改修事業

唐津市

(事業費増額および工期延長)



位置図



広域河川改修事業
L=2,360m

事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生

平成3年9月洪水

浸水戸数 床下浸水11戸

○浸水被害の軽減を図る

- ・流路是正、狭窄部解消を実施
- ・治水安全度の向上を図る

計画流量 $100\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度 $1/30$

平成3年9月(台風第17号)横田川

連続雨量 175mm、最大日雨量 175mm、時間最大雨量 82mm
佐賀気象台 和多田観測所



浸水家屋 11戸



近年の浸水被害状況

R1.8.27

最大日雨量 ……165.5mm
時間最大雨量 …… 34.5mm

唐人川橋下流付近



常松橋上流付近



常松橋上流付近



常松橋上流付近



横田川広域河川改修事業

着手年：平成5年度
事業地：唐津市

○事業概要

	前回再評価(H30)	今回
・全体事業費	5,200百万円	5,700百万円
・事業期間	H5～H35(R5)	H5～R7
・改修延長	2,360m	2,360m
・計画流量	100m ³ /s	100m ³ /s
・計画治水安全度	1/30	1/30
・事業内容	掘削・築堤・護岸 L=2,360m 橋梁5基 JR橋梁1橋 サイフォン1基	掘削・築堤・護岸 L=2,360m 橋梁5基 JR橋梁1橋 サイフォン1基
・費用対効果	2.89	3.00

変更理由

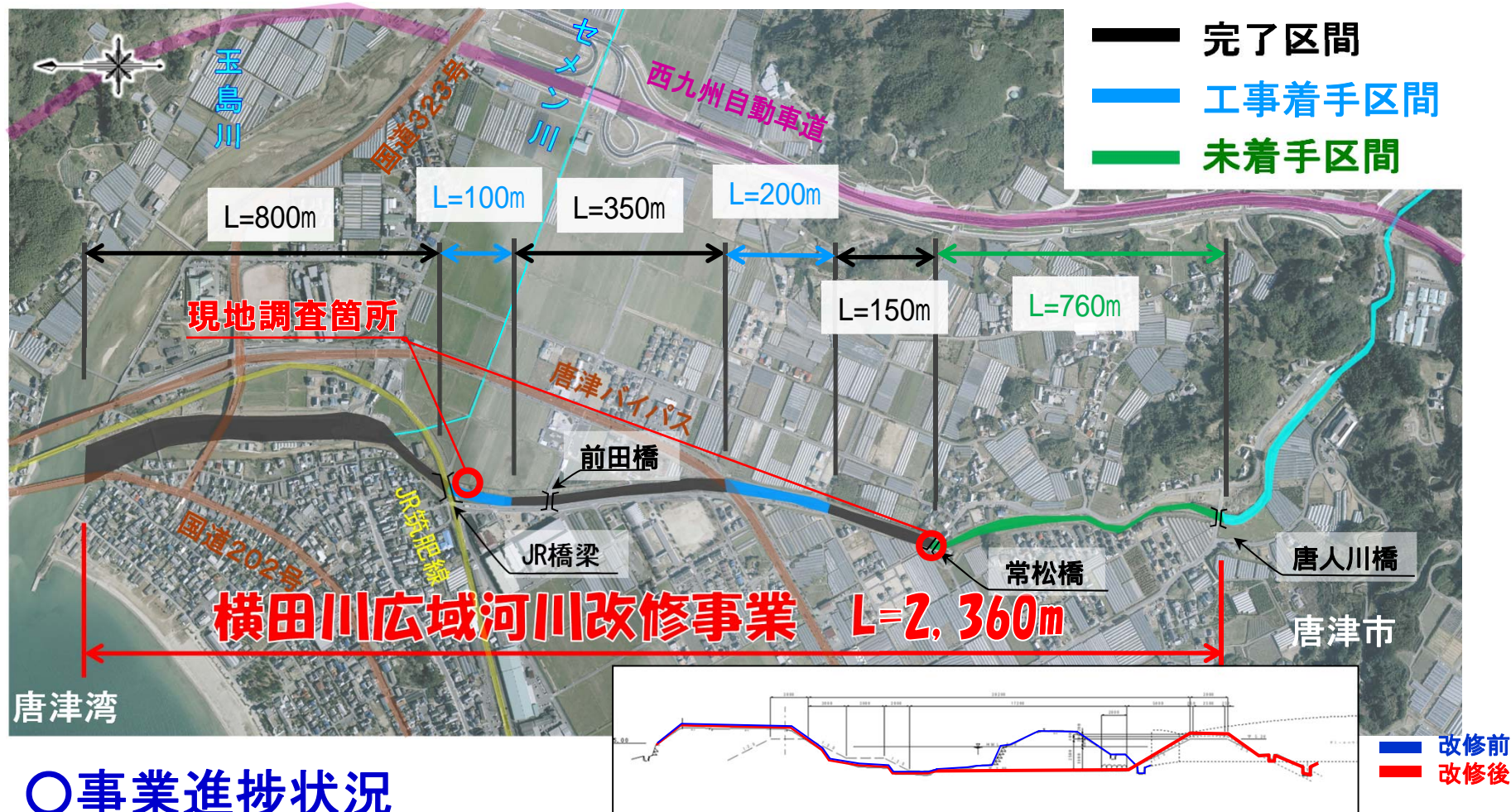
○事業費の増額

地盤支持力不足による基礎工法の変更および仮設の追加などによる増加。

○事業期間の延長

常松橋～唐人川橋区間の設計に対する地元調整に時間を要したことによる事業期間の延長。

事業進捗状況

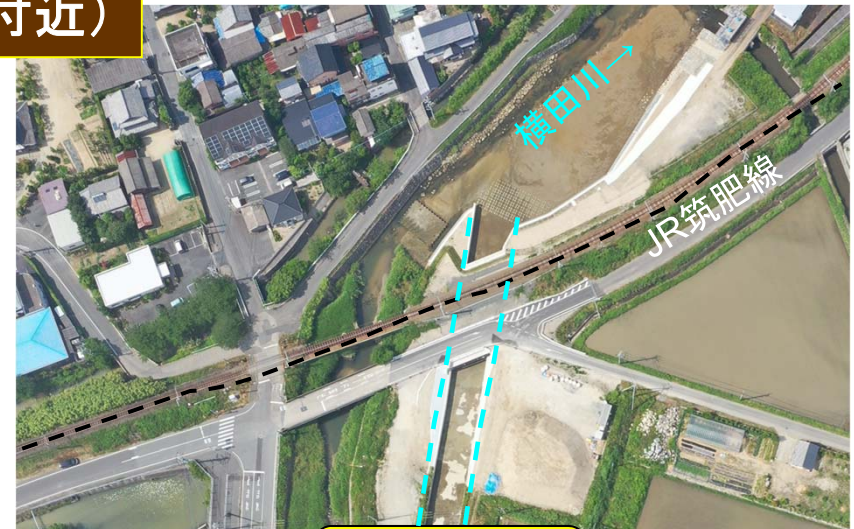
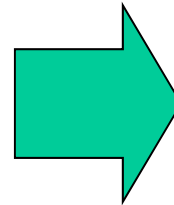
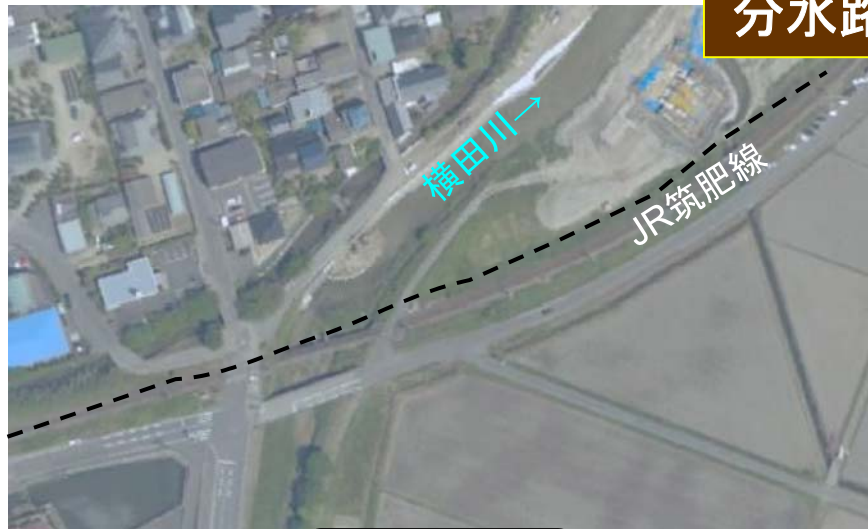


○事業進捗状況

- ・玉島川合流点からJR橋下流までの約800mを完了
- ・JR橋梁上流から常松橋まで一部区間を残して河道掘削済
- ・JR橋梁前後区間を改築中
- ・令和元年度末進捗率 90.9%(事業費ベース)・年平均進捗率 3.4%

改修前後の状況

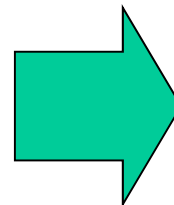
分水路(JR橋付近)



改修前

改修後

前田橋より上流



事業を巡る社会情勢等の変化

【地域の状況】

西九州自動車道の整備が完了したことで、都市化が進展しており、特に国道202号より上流では、宅地開発が進んでいる。

費用対効果の要因の変化

マニュアル改定に伴う被害率の上昇および農地・農業用施設被害額の算出方法の変更により、総便益Bが増加し、 B/C が上昇。

総費用額C: 治水施設の整備及び維持管理に要する総費用
(建設費、維持管理費(※事業完了後50年間))

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額(被害軽減額)

- ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産) 11,788百万円
- ・農作物被害(水稻、畑作物) 137百万円
- ・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等) 17,088百万円
- ・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等) 2,918百万円
- ・残存価値 141百万円

総費用C: 10,687百万円

総便益B: 32,072百万円

⇒費用対効果

$$B/C = 32,072 / 10,687 = 3.00$$

コスト縮減や代替案等の可能性

【コスト縮減】

- ・掘削土を堤防盛土や埋戻土にするなど建設副産物を有効利用する。
- ・護岸の裏込材に再生クラッシャーランを使うなど再生材を積極的に使用する。

【代替案の検討】

- ・特になし



対応方針(事業課案)

地域の状況から、事業の必要性は一層高まっており、地域住民の安全・安心な暮らしに寄与するため、事業を継続したい。